

株式会社ジェイコムイースト 小田原局

2016 年度 放送番組審議会 議事録

2016 年度の放送番組審議会は、2017 年 3 月 22 日(水)に㈱ジェイコムイースト小田原局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

秋谷 勉 様	井澤 幸雄 様	杉田 倫子 様
樋口 正人 様	宮川 萬寿美 様	芳澤 一夫 様

—ご欠席—

柳川 ひとみ 様 (委任状あり)

柳下 登 様 (委任状あり)

事業者側から局の現況報告、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(芳澤会長による進行)

◆市民参加番組での許諾対応について

委員 知っている人がテレビに出ていると身近に感じる。学生が五代祭りの姫隊に参加しており大変人気。大学でイベントなどを行う場合、写真などが広報物に掲載されることがあるため参加者に(許諾書等)一筆書いてもらっているが、ケーブルテレビではどうしているのか。

委員 地域の人が主役ということが分かる番組で良いが、肖像権などの問題はあるのか。バスケットボールの大会などで選手の名前が出ていてとても良いが、未成年者への対応やイベントでの撮影はどうしているのか。

事業者 (ケースによるが)承諾書をとる場合がある。イベントや大会などの場合は、取材し放送することをあらかじめ主催者に説明している。不特定多数の人が映る場合は承諾を得ることは難しいので、撮影の際はスタッフジャンパーを着用し、取材していることが周囲に分かるようにしている。

事業者 特に小学校、幼稚園などへ取材に行く場合は1週間くらい前に学校へ取材を申し入れ、保護者へ連絡してもらうなどしている。その際、放送 NG の児童は撮影しない

などの配慮をしている。

委員 台風などのニュース映像で、傘が飛ばされているような映像がよくあるが？

事業者 報道は扱いが別となるが、最近では自主規制で顔にぼかしを入れることも多い。

◆情報提供と番組の内容について

委員 今年の小田原北條五代祭りには、氏規とゆかりのある大阪狭山市がはじめて参加する。天守閣には氏規の甲冑が飾ってある。全日本女子ラグビーの合宿もほぼ決まった。陸上競技場もリニューアルする。ふるさと納税が非常に好調。中でも人気のウィングラスを作るガラス工房が橋にあるので取り上げても面白いのでは。伊豆と横浜の人が移住してきて工房を作った。移住して活躍している人が多くいる。定住ツアーや婚活ツアーも計画している。9月1日には9都県市合同防災訓練を予定。総理大臣も視察に来る大きな訓練なので、ぜひ取材を。今年の五代祭りが終わってから1年かけ、住吉橋の改修も行われる。解体からの記録映像を撮っても面白い。

委員 企業と様々な団体がタイアップして活動する、南足柄みらい創りプロジェクトのPRをぜひお願いしたい。

委員 大きなイベントは多く取り上げていただいている。その他にも地元のマイナーイベント、ちょい飲みや水レモンバル、軽トラ市なども新しい発見につながるの面白いのでは。また、イベントだけでなく「テーマ」を決めた取材、特に日常なことから拾い出しても興味が広がる。飲みながら居酒屋を歩くような、ゆるい番組があっても良いのでは。

委員 行政からの情報を取材した、硬い番組が多いと感じた。もっと柔らかい番組があっても良い。

委員 どのように情報を吸い上げるかが大切では。

事業者 情報は行政から寄せられたり、直接連絡をいただいたりするが、まだ足りない。ぜひ、委員の皆様にも協力いただきたい。

◆特派員制度の導入について

委員 開成町では地域の映像マニアの方(撮影ボランティア)が活躍している。作り手としての参加者を増やし盛り上げると、加入やまちの活性化にもつながるのではと考えるので、ぜひ広げてほしい。また、スマホを活用した気軽な投稿なども良いと思う。

委員 ボランティアや特派員制度のようなものをもっと取り入れてみても良いのでは。マンパワー不足の解消にもつながり、情報も増える。

◆ケーブルテレビに“報道”は必要か

委員 ケーブルテレビはイベント情報を取り上げることが多いが、ニュース(報道)をやるべきかどうか?例えば、市民ホール問題を公平・公正に取り上げるなどできないのか。また、新幹線が火災でストップしているなどは、地元メディアとしてすぐに放送すべきではないかと思う。さらに、地元の火災なども気になるので知りたいと思う。

事業者 デイリーニュースは「報道番組」ではない。人的パワーなどで出来ない面がある。また、「ケーブルテレビで報道は必要か?」という議論もあり難しい。

委員 ニュースなどはスマホですぐに知ることができる。緊急に知りたい場合はそこから探ったほうが早い。

事業者 以前は消防署に設置された専用端末を活用し、消防職員が入力した火災情報からL字情報として送出されていた。現在も各行政からの要請に応じた緊急情報を出せる仕組みにはなっているが、前ほど身近な情報を出せていないため、課題と感じている。

委員 火災についていえば、情報ニーズとしては2種類ある。その火災による家族などの安否確認としての情報と、その火災の影響での交通状況など。どちらのニーズに合わせた情報を出すのかを考えるべき。道路や交通情報などはスマホですぐに見られるのでそちらに任せるべき。

委員 “報道”にこだわらず、地域の“情報”が早く分かれば良いのではないか。

委員 報道まで踏み込まなくても良いと思う。本気で報道に踏み込むのであればお金をかけて体制を作る必要がある。中途半端ではだめ。

委員 ローカルな報道＝情報を大切に、“地域情報チャンネル”としての良さをコンセプトに確立すれば自然に情報が集まるのでは。

事業者 貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。皆様からのご意見を番組制作に反映させていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上